

最も多い肺がんでも 31・1%にとどまりました。

このことから、健康診断は気軽に受けるが、たとえ早期でも「がん」が見つかることは尻込みする受診者の行動が垣間見えます。

もちろん、このような理由だけが受診率に影響を及ぼしている訳ではなく、受診意識の醸成や機会の確保も大切です。ことし四月から実施が義務付けられた特定健診・保健指導の成否も、今後の受診率を左右しそうです。

第 3 回 いつでもどこでも健康検査

11 月 21 日掲載

病気を治す「治療医学」に対し、病気にならないようにするのが「予防医学」です。ここでも検査データが主役になります。

食生活の改善、適度な運動、ストレス解消などの健康増進と予防接種、生活習慣病対策などの疾病予防を一次予防といい、疾病の早期発見、早期措置により重症化を防ぐものを二次予防といいます。先週お話した健診は一次予防、検診は二次予防ということです。

四十歳から七十四歳を対象として今年から始まった特定健診・保健指導（いわゆるメタボ健診）も一次予防です。しかし、対象年齢を考えると、健康を証明するというより疾病の早期発見という二次予防に近いものになりそうです。これだと、検査結果が悪ければ検査嫌いになるかもしれません。

たとえば成人の記念に、というように若いときから自分の健康なデータを管理し、少しでもデータが悪くなったら医療機関で受診すれば健康寿命が伸びるはずですが。健康検査はいつでもどこでもできなければなりません。医療機関、薬局をはじめ、駅ナカ、スーパー、コンビニなどで精度の高い市販検査薬を用いて自分の健康を守る。そんな時代がやってきました。

日臨技だからできる
皆様に役立つ身近な話題を掲載

日本臨床衛生検査技師会ホームページ

<http://www.jamt.or.jp/>

jamt

検索

日本臨床衛生検査技師会ホームページには、研修会情報、会報 JAMT を始め、厚生労働省通知などの検査技師に関連する情報を提供しています。お役立てください。

掲載情報：厚生労働省通知、都道府県研修会・研究会情報、JAMTIS へのリンク、理事会報告、会報 JAMT (バックナンバーを含む)、都道府県技師会ホームページへのリンク、出版物・購入方法案内など

ホームページを身近なものに!



第 58 回日本医学検査学会
演題受付開始



第 3 回 AAMLS 学会

新聞連載コラム開始



会報 JAMT 速報版

医学検査 ~新たな始まり~ in 富山

中部地区短信

第 47 回中部医学検査学会が 10 月 4 日(土)・5 日(日)に富山市(富山市国際会議場)で開催されました。富山を少し紹介します。富山市は富山県のほぼ中央から南東部分までを占め、豊富な魚介類を育む富山湾、特に“しろえび”のお刺身は人気 NO.1 です。東には雄大な立山連峰が広がり、3,000 メートル級の山々までが織りなす自然の姿は、日本の中でもトップクラスの絶景だと思います。また、少し足を伸ばせば、トロッコ電車で有名な宇奈月温泉があります。この自然に囲まれた富山市で、テーマ「医学検査 ~新たな始まり~」とし、これからの臨床検査室、臨床検査技師の在り方や私たちに求められるものについて考える学会として、一般演題 80 題、4 のランチョンセミナー、シンポジウム、文化講演、市民公開講座の内容で行われました。中部の各県より参加した会員は 696 名であり、活発な研究成果の報告と情報交換が行われました。

また、ドラえもんの世界にみるチームワークと題した文化講演が行われ、ドラえもんの世界にみる社会を題材にどのようにチームワークが作られたか、漫画の内容から具体的なお話を聴講することができました。

市民公開講座は今年から開始された特定健診・保健指導の中心的なターゲットである「メタボリックシンドローム」をテーマとして行われました。中でも富山健康科学専門学校の片貝仁子先生の講演では、メタボリックシンドローム予防のための運動について、会場の聴講者とともに実際に運動をするなど楽しく参加のできる講座でした。

今回の学会も実務委員の方々の多大なるご協力により盛大に学会が開催され、懇親会では日本臨床衛生検査技師会の小崎会長を囲み、会員と活発な意見交換もでき大きな成果があったと思います。来年の第 48 回の学会は静岡の三島市を予定しています。

【梶山広美】

